

東京都農業会議情報

第306号
平成20年9月

編集及び発行
東京都農業会議
渋谷区代々木2-10-12
TEL (03) 3370-7145

会長就任にあたって



波多野会長

東京都農業会議会長 波多野重雄

会長就任にあたり、ひとごとご挨拶を申し上げます。いま、我が国の農地政策が大きくかわろうとしています。農地法改正の必要性は、長年語られてきたが、複雑な関係制度や権利関係などにより、着手されないまま今日にいたっております。

一方、農地政策に関連し関係制度の見直しも行われます。特に、納税猶予制度は耕作者主義基本とする農地法により制度が仕組まれています。さらに一部では、農業経営の実態を踏まえた見直しをすべきとの意見もあります。

このような中で相続納税猶予制度の基本を堅持するよう最大の努力をしております。また、20年度税制改正大綱では、相続税を遺産取得方式にかえるよう検討することと

していますが、農業者の税負担が増し農地の分散化にもつながるこの変化には強く反対していかなければなりません。このようなかつてない課題が山積するなか、役員一同精一杯努力してまいりますので、ご指導ご協力をたまわりますようお願いを申し上げます。

(波多野会長は10月1日付で全国農業会議所の副会長に就任いたしました)

常任会議員を紹介します

- 清水宏悦(葛飾区) ▼ 岩楯重治(江戸川区) ▼ 野崎博(福生市) ▼ 宮川修(羽村市) ▼ 上野正男(日の出町) ▼ 中西忠一(八王子市)
- ▼ 吉川庄衛(町田市) ▼ 岩澤泰宏(日野市) ▼ 小林清秀(府中市) ▼ 肥沼和夫(東村山市) ▼ 榎戸岩男(国分寺市) ▼ 貫井正彦(西東京市) ▼ 眞野忠彦(東大和市) ▼ 土屋博(八丈町) ▼ 村野弘一
- (中央会) ▼ 小林辰男(農業共済) ▼ 高橋信茂(信連)
- ▼ 石井多門(基金協) ▼ 鹿島章吉(改良普及協) ▼ 久保田経三(農林振興財団) ▼ 木村新平(全農) ▼ 菊池勝男(全共) ▼ 三田敏哉(都議会) ▼ 宮崎章(都議会)
- ▼ 白井孝(市長会) ▼ 石塚幸右衛門(町村会) ▼ 波多野重雄(学識経験) ▼ 石川清(経営者クラブ)

東京都農業政策に関する建議など決定 新役員・監査委員を選出

第103回東京都農業会議通常総会

都農業会議は8月18日に第103回通常総会を開き、①6号会議員の選任、②平成19年度事業報告の承認、③平成19年度決算の承認、④平成20年度予算の一部修正、⑤東京都農業政策に関する建議(次頁参照)の5議案について審議し、原案のとおり決定しました。

また、任期満了に伴う役員および監査委員の選挙を行い次の会議員が選出され、就任しました。

会長 波多野重雄(学識経験・再任) ▼ 副会長 肥沼和夫

建議の実現に向け要請

東京都農業会議

東京都農業会議はこのたび、東京都に対し農業政策に関する建議を行いました。

波多野重雄会長と肥沼和夫



産形都農林水産部長に建議書を手渡す



挨拶を述べる波多野会長

(東村山市・新任)・村野弘一 (JA中央会・新任) ▼ 監査委員 大堀耕平(小金井市・新任)・前田隆夫(利島村・再任)



都議会自民党を訪問し建議の実現に向け理解を求めた

副会長、村野弘一副会長が都の産形稔農林水産部長に面会し、建議の実現を要請する知事あての文書を手渡しました。また、あわせて都議会自民党を訪問し、建議が実現されるよう理解を求めました。

東京都農業政策に関する建議要旨

8月18日に開催した東京都農業会議の通常総会において決定された「東京都農業政策に関する建議」の要旨は次のとおりです。

1. 農地の保全と利用促進

①農地の利用と流動化の促進

農地の流動化を円滑に進めるとともに遊休化に歯止めをかけるため、農地の貸借や農作業受委託に対する奨励金など、農地の利用を促進する施策を確立すること。

②都市農地を保全するための施策の確立

農林水産部を中心に、関係部局や関係機関の連携により都市農地保全の具体的な方策を検討するとともに、実効ある政策につなげることを。

③都市農地の保全に関する国への要望

現行の生産緑地法ならびに相続税納税猶予制度の基本を堅持するとともに、従来の地区指定によらず農地等所有者の意向に基づく新たな都市農地保全制度を確立し、相続税・固定資産税の実質的農地課税等税制の改善を特に国に

対して要請すること。

また、畜産や園芸施設用地を法人に持ち込んだ際のみなし譲渡所得・贈与課税の特例措置の実現について、国に要請すること。

④防災に協力する農家に対する支援

防災に協力する農家の持つ農地及び施設・設備を明らかにするとともに、常時有効に活用できるようにその改善や保守・点検等に対する支援を行うこと。

2. 認定農業者をはじめとする担い手の育成・支援

①認定農業者等の経営支援
補助事業については単独の経営体も事業の対象とするなど、柔軟な仕組みとすること。また、農業改良普及センターの増員をはじめ支援体制を強化すること。さらに、東京都独自の価格補償制度を確立すること。

②資材や飼料の高騰に対する援助

原油の高騰等による経費の増大や畜産経営における飼料価格の高騰といった状況を踏まえ、農業経営の維持がはか

れるよう、早急に援助を実施すること。

3. 都民に対する啓発と消費拡大

①東京農業の多面的な役割についての啓発

東京農業が果たしている役割について都民の理解を得るため、多様なメディアを通じて広く啓発すること。

②東京産農産物の消費拡大

東京産の生鮮農畜産物や加工品の魅力を知らせ、購入機会の増大につながる積極的な消費拡大に取り組むこと。

③農・商・工の連携促進

東京ならではの農業経営の展開を支援するため、外食産業や食品加工業等との連携を促進すること。

4. ガイドラインの実現

東京都が策定した「農業・農地を活かしたまちづくりガイドライン」に示されたモデルの実現のために関係部局と一体となり事業を行うこと。

5. 農業委員会系統組織の充実と強化

農業委員会・農業会議の系統組織が有している機能と役割が今後とも持続的に発揮されるよう、組織の充実と強化をはかること。

常任会議員会議だより

第5回常任会議員会議

平成20年8月18日に開催した状況は次のとおり。
議事

①常任会議員の議席について決定した。

②農地法4条・5条の規定に基づく知事諮問は、4条3件1339㎡、5条2828・49㎡について審議をし、許可相当と答申する旨決定した。

第6回常任会議員会議

平成20年9月17日に開催した状況は次のとおり。
議事

農地法4条・5条の規定に基づく知事諮問は、4条1件815㎡、5条7件2578㎡について審議をし、許可相当と答申する旨決定した。

①「平成21年度東京都農業会議事業・予算の構想」について協議をし、10月6日に開催する区市町村賛助員協議会に提出することとした。

②11月21日に、立川市市民会館（アミュー立川）

で開催する「農業委員会活動推進フォーラム開催要領案」について協議をし、基調講演ならびに農業委員会の多様な活動事例を報告し意見交換などを進めることとした。

当面の農政問題では、

①全国農業会議所が決定した「農地政策の見直しに関する意見」について説明した。

本制度の見直しは、農業委員会系統組織や、農地法が根拠となる相続税納税猶予制度にも大きく関係する内容であり、農地の所有と利用のあり方など、今後の農業行政や施策などについても大きく左右する重要事項であることから、今後とも重点項目として対応をはかることとした。

②農林水産省が提出している平成21年度税制改正要望について、特に農地制度見直しに伴う関係税制のポイントについて説明をした。

③平成21年度農林水産予算概算要求の概要について説明した。

都内32区市町村農業委員会で改選

女性農業委員は38人に
認定農業者の委員は194人に

任期満了に伴う第20回農業委員統一選挙が本年7月に実施され、都内では32区市町村の農業委員会で改選が行われました。

改選後の状況につきまして、農業委員は都内で643人(前年641人)うち女性農業委員が38人(選挙22人・選任16人/前年37人)、認定農業者の委員は149人(前回(平成17年7月)72人)となりました。(表1)

以下、会長を紹介します。

- (新)新任、再選、再選、(敬称略)
- 非改選)
- 世田谷区 横山 健一(新)
- 杉並区 井口 喜一(新)
- 板橋区 田中 将浩(新)
- 練馬区 村田 健二(新)
- 足立区 中田 文雄(新)
- 葛飾区 清水 宏悦(再)
- 江戸川区 岩楯 重治(再)
- 青梅市 川鍋良一郎(再)
- 福生市 野崎 博(再)
- あきる野市 平野 正延(非)
- ※8月に再任
- 羽村市 宮川 修(再)
- 瑞穂町 久保田晴利(再)
- 日の出町 上野 正男(非)
- 奥多摩町 濱野 芳男(非)

- 八王子市 中西 忠一(非)
- 町田市 吉川 庄衛(非)
- 日野市 岩澤 泰宏(非)
- 多摩市 小暮 和幸(新)
- 稲城市 笹久保 榮(新)
- 立川市 小林 公成(新)
- 武蔵野市 田中 政伯(再)
- 三鷹市 岡田 源治(新)
- 府中市 小林 清秀(新)
- 昭島市 植田 芳雄(新)
- 調布市 篠崎 博(非)
- 小金井市 大堀 耕平(新)
- 小平市 竹内 武男(新)
- 東村山市 肥沼 和夫(再)
- 国分寺市 榎戸 岩男(再)
- 国立市 関 敏明(新)
- 西東京市 貫井 正彦(非)
- 狛江市 小川 昭治(新)
- 武蔵村山市 内野 厚生(新)
- 東大和市 眞野 忠彦(再)
- 清瀬市 松村 俊夫(新)
- 東久留米市 松本 清(再)
- 大島町 中村 富長(非)
- 利島村 前田 隆夫(再)
- 新島村 大沼 光吉(非)
- 神津島村 浜川 浩(再)
- 三宅村 笹本 準治(非)
- 御蔵島村 廣瀬 信郎(再)
- 八丈町 土屋 博(非)
- 青ヶ島村 菊池松太郎(再)
- 小笠原村 早川 保(非)

表1 改選前後の委員数の変化(概要)

区分	改選前	改選後
	(19年8月1日現在)	(20年7月20日現在)
農業委員数(実数)	641	643
①選挙委員	475	469
②農協推薦	45	44
③農業共済	17	34
④土地改良	3	3
⑤議会推薦	112	108
	(兼任含11)	(兼任含12)

新任農業委員研修会など
農業委員・職員を対象に研修など開く

都農業会議は、7月31日から8月1日の2日間にわたり、農委会職員研修会(農地専門職員研修会)を南新宿ビルで



会長職務代理研で「農業委員会活動」について報告をする町田市の横田職務代理

東京都に要請・意見交換

東京都農業経営者クラブ

東京都農業経営者クラブ(石川清会長)は、このたび、東京都への要請活動を実施するとともに、都農林水産部との意見交換会を開きました。

都クラブからは役員ら24人が、都の農林水産部からは武田農業振興課長はじめ担当者が出席をしました。都への要望事項は6月の同クラブの総会で決定した

もので、担い手の支援や農業労働力不足への対応、畜産経営に対する緊急支援、食農教育の推進、適正な農薬使用の推進と登録農薬の追加などを求める内容となっていました。

意見交換会では、これら要望事項に加え、地域農業が抱える様々な課題について話し合われました。

東京都農業会議

東京から農地法の概要、都市計画法など、元東京法務局の細田進氏からは、不動産登記法の概要について説明がされました。

また、9月1日の農委会会長職務代理研究集会では、全国農業会議所の伊藤部長が農地・農政を巡る情勢について説明をし、町田市農委会の横田文雄会長職務代理からは、町田市農委会の取り組みについて報告がされました。



意見交換会では様々な課題について話しあわれた

さらに、第20期新任農業委員を対象とした新任農業委員研修会を8月27日新宿会場と9月5日立川会場で開催しました。研修会では、農業委員に期待される役割、農地制度の概要、認定農業者制度などについて説明しました。

島しょ農業委員会の積極的推進・施策要望など決定 優良農家表彰・神津島村の農業を現地研究

第21回島しょの農業委員・農業者大会開く

島嶼農業委員会協議会（土屋博会長）は、9月2～3日にかけて神津島村にて「第21回島しょ農業委員・農業者大会」を開きました。

大会は、6島より60人が参加し、まず、都農業会議肥沼副会長、石野田神津島村長、平野都大島支庁産業課長、菊池JA東京島しょ組合長より来賓挨拶が述べられ、次に

①農委会の積極的推進に関する決議と②島しょ農業施策に関する要望を採択しました。

また、第23回優良農家表彰を行い、5名を代表して神津島村の石野田さんが表彰状を授与しました。

- 表彰者（敬称略） 山本政一（大島町）▼前田カズ江（新島村）▼山本亀次郎（新島村）▼石野田美代子（神津島村）▼菊池政敏（八丈町）

続いて、農業委員会の活動事例として①農地の流動化と担い手の確保（八丈町）②地産地消の取り組み（大島町・新島村・神津島村）③島民とのシンポジウム活動（大島町）



「島しょ農業の振興を」と挨拶する土屋会長

⑤農業の現状（三宅村）について報告がされました。現地研究会では、神津島村の特産のレーザーファンとアシタバ生産などを研究しました。

農業者と消費者の交流セミナーを開きます

見城美枝子さん招き

都農業経営者クラブと都農業会議は、農業者&消費者交流セミナー「食と農を結ぶ〜東京で地産地消〜」を開きます。

認定農業者やクラブ会員、農業委員などが参加対象となりますが、消費者にも参加を呼びかけています。ぜひ、お誘いの上、ご参加下さい。

永年勤続会員表彰・講演会開く

都農委会職員研究会

東京都農業委員会職員研究会（戸井田喜一会長）は、8月29日に、南新宿ビルで、全体研究会を開きました。

はじめに第34回永年勤続会員表彰式を行い、農業委員会に5年以上在職もしくは来年会に3月までに5年となる見込みの会員が表彰されました。引き続き「行政不服審査法の概要」をテーマに農水省の志賀訴訟係長による講演が行われ、特に農地法に関する行政不服審査について事例を交え説明がされました。

農業委員会活動推進フォーラムを開きます

「東京農業の基盤を築く農業経営支援活動」をテーマに

農業委員会活動推進フォーラムを「東京農業の基盤を築く農業経営支援活動」をテーマに11月21日（金）午後1時30分より立川市市民会館において開きます。フォーラムでは「これからの農業経営と農業委員会の支援活動」をテーマとした基調講演と農業委員会活動の事例報告により、意見交換などを進めます。事例報告は、①生産緑地追加指定、②農地の管理と利用促進、③認定農業者制度、④簿記帳簿講習会など多様な活動による支援の報告などを予定しています。多くの農業委員各位のご参加をお待ちしています。

表彰者は左記の6名です。

- （敬称略）
- 生駒モトミ（杉並区）▼宗形京子（武蔵野市）▼齋藤貴彦（小平市）▼野澤進（東村山市）▼寺井寛知（国分寺市）▼栗山重男（狛江市）



戸井田会長より表彰を受ける狛江市の栗山さん（中央）

10月～11月の日程

- 10・6（月） 賛助員協議会
- 10・15（水） 農地関係部会長研
- 10・17（金） 第7回常任会議
- 10・22（水） 女性委員・職員研
- 10・28（火）～29（水） 農業委員会会長研究会
- 11・12（水） 経営関係部会長研
- 11・17（月） 監査会・常任会議
- 11・21（金） 農業委員会活動フォーラム
- ◆地区別職員検討会
- 11・26（水）区内▼11・28（金）島しょ▼12・8（月）西多摩▼12・9（月）南多摩地区▼12・11（木）北多摩西部▼12・12（金）北多摩北部▼12・15（月）北多摩南部